



八雲町社協だより

ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくりを目指して



迎春



年頭のご挨拶

八雲町社会福祉協議会

会長 松 井 敏 夫

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、平成二十八年の希望に満ちた新春をお健やかに迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素から社協に対して温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

社協は、地域福祉推進の中核的役割を果たすためいろいろ取り組んでいる中、依然として高齢化が進み、高齢者人口が顕著となり、それに伴って一人暮らし世帯、高齢者世帯、認知症高齢者などの増加、さらに昨年は介護保険制度の見直しにより、新たに地域特性に応じた「地域包括システムの構築に向けた新たな地域支援事業」が創設されました。

このことから、社協の果たす役割はますます重要性が増しておりますので、町をはじめとして幅広い分野と連携、協働しながら、基本理念である「ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくり」を目指して、より一層、地域福祉の推進を役職員一丸となって取り組んで参ります。

町民の皆様には、これからもご支援、ご協力をお願いすることと思いますが、ご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

第5回八雲町福祉懇談会

去る平成二十七年十一月十八日、第五回八雲町福祉懇談会が福祉団体やボランティア団体、民生委員等約九十名の参集のもとシルバークラバで開催されました。最初に八雲社協松井会長が、今日のこの福祉懇談会が、今後の福祉推進の一助になると挨拶し、伊瀬副町長、能登谷議長から挨拶をいただいたあと、さわやか福祉財団インストラクター・医療法人社団豊生会地域包括ケア推進部地域推進主幹長井巻子氏を講師に招き、「新しい介護保険制度で地域はこう変わる！」と題し講演していただきました。

健康寿命と平均寿命の差が大きければ



大きいほど、サービスが必要となり、子どもが少なく、支えてほしい人が増えていくのでマンパワーの不足になります。そのためにも地域の住民が安心して暮らせる社会が必要となり、サロンなどの多世代の人々が自由に参加でき、助け合いや絆が生まれる場所が必要と話されました。

意見交換では、八雲社協能代理事が司会進行を務め、八雲総合病院介護支援専門員岩澤美香様より医療の立場から意見発表をお願いしました。

病院内という事もあり、医療依存度の高い方が多く、最近では末期がんの方など福祉サービスを利用して住み慣れた自宅で暮らしたいという方も増えてきていて、住み慣れた地域で自分らしく暮らす為には、公的なサービスだけではなく介護サービスでは出来ないちょっとした支援があればもっと生活しやすいと感じているということでした。

次に、介護の立場から八雲町認知症家族の会会長関口佐保子様と熊石介護者と共に歩む会会長平井稲子様より、それぞれ団体の活動や取り組み状況について意見発表をしてもらい、介護保険制度の改正により要支援の方がサービスを受けることが出来なくなると聞き非常に残念な事だと思ったことや、それに代わる地域にサロンのような交流の場の必要性や介

護者の団体としてどう関われるかについての発表があり、八雲町における地域福祉活動の課題など活発な意見交換が行われ盛会に終了いたしました。



平成27年度役職員研修視察



平成二十七年十一月十日役職員の資質の向上、事業推進のため今年度は社協の組織運営事業、介護保険事業、在宅福祉事業に先進的に取り組んでいる岩内町社会福祉協議会を研修地として学んできました。

岩内町社会福祉協議会の事業活動状況を聞き、小地域ネットワーク活動では、地域の高齢者等に対する、声かけ、見守り、安否確認、困りごとの発見等を町内会単位で行っており、活動の効果や運営方法について意見交換が行われました。

介護保険事業経営については、介護報酬の改定による事業への影響や情報収集など利用者に望まれるサービスの提供に努めていくことが必要であるとの意見もあり熱心な話し合いがなされました。

またボランティア活動事業では八雲町社協にはない、有償ボランティア事業があり、今後の検討課題となりました。

施設見学では、デイサービスセンターラポールなんたる、地域密着型特別養護老人ホームなんたるを訪問し、経営の方法や職員の体制、配置についてお聞きし、効率のよい運営体制を図る参考となりました。

参加者からは今回の研修で得たものを積極的に活動に取り入れようとの声もあり、充実した研修となりました。

熊石ふれあいサークル事業

男のための「そば打ち体験」



八雲町社会福祉協議会熊石支所では、十一月二十六日(木)熊石総合センターで、ふれあいサークル事業と称し(男のための)そば打ち体験を実施いたしました。

講師は、相沼小学校の齋坂道雄校長にお願いし、参加者は、そば打ち経験がある方から全くの初心者まで、十名で行いました。

なかなか良い感じで生地が仕上がっていき緊張の行程「生地を切る」をなんとか終え、麺を各自で茹で、水で締め、盛り付けをし、待ちに待った試食をしました。

「歯ごたえ強いねえ」等、自分たちで打ったそばは、また、格別のものとなりました。



「赤い羽根チャリティー演芸会」を開催しました!!

赤い羽根共同募金運動に協賛した、チャリティー演芸会（熊石カラオケ愛好会主催）が11月22日（日）午後1時15分から、ふれあい交流センター熊石館で開催されました。

演芸会は、町内会連絡協議会やボランティア協議会、老人クラブ連合会の他、活動を始めて間もない「熊石ダンスサークル」の皆さんも出演し、約90名の入場者と30名を超える出演者・運営スタッフが一つになった楽しい演芸会となりました。

結びは、佐藤熊石町内会連絡協議会会長から、地域を支える絆に感謝しますとのメッセージ、お楽しみ抽選会へと続きました。

集まった募金は、松田カラオケ愛好会会長より熊石地区共同募金委員会の手塚会長に手渡され、手塚会長からは、赤い羽根共同募金運動への理解と援助に、お礼のあいさつがありました。

チャリティーに関わって下さった皆様、お疲れ様でした。
ありがとうございました。



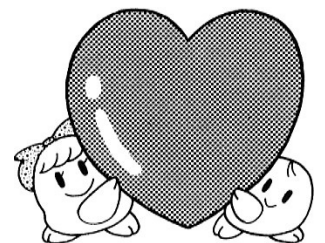
赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金運動が10月1日から始まり、町民皆様から善意の募金が集まってきておりますので、11月30日現在の途中経過をご報告いたします。

●赤い羽根共同募金の実績（11月30日現在）
実績額 2,980,458円（目標額 3,700,000円）



内訳	個別募金	1,346,319円
	大口募金	1,202,350円
	街頭募金	240,357円
	その他	191,432円



八雲ボランティア黒松内福祉施設慰問

No.11

ボラ通

去る、11月11日（水）八雲ボランティアによる、黒松内町にある『緑ヶ丘老人ホーム』『緑ヶ丘ハイツ』への慰問に同行させていただきました。毎年八雲ボランティアを中心に、八雲民謡会、松の会舞踊サークル、フラサークルなどが参加し、今回は総勢22名の方が参加しました。三味線による生演奏の他、舞踊、フラダンスと毎年多彩な催しものがあり、入所されている方も大変喜んでいました。

八雲ボランティア会長川口さんより、「来年もまた来ますので、みなさんいつまでもお元気で！」とあいさつをし、入所者と一緒に音楽と踊りを楽しんでいました。



ボランティアに参加してみませんか

ボランティア活動をしてみたい。何ができるかわからない、どのように参加し、行動したらよいのかわからない、という人も多いと思いますが、ボランティアは、「できる人ができるところからの活動」です。

社協ではボランティアを募集しています。あなたも気軽にボランティアに参加してみませんか？

はじめるには？

ボランティア活動に参加するには、個人で参加する方法と、地域のボランティア団体に加入し活動する方法があります。

また、ボランティアスクールに参加し、仲間づくりから始める方法もあります。

活動はどんな内容？

個人ボランティアの方には、主に社協の在宅福祉活動や行事等への協力をお願いしています。

- ひとり暮らし高齢者や障がい者世帯を対象にお弁当の宅配
- デイサービスセンターで、利用者への介添・話し相手や行事等のお手伝いを行う活動
- 「ふれあいひろば」など社協の事業等に協力する活動などです。

そのほかに、自分がやってみたいボランティアをあらかじめ登録し、活動する方法もあります。詳しくは社協へご相談下さい。



皆さんの暖かい善意のご寄付ありがとうございました

ボランティアセンター（愛情銀行）

平成27年10月16日～平成27年12月15日（順不同・敬称略）

- 一般寄付**
 - ・下里 晃 黒岩 30,000円
 - ・(有)第一清掃（昭和54年度より継続） 8,797円
 - ・はまなすクラブ（平成22年度より継続） 6,885円
- 物資寄付**
 - ・八雲町老人クラブ連合会（平成20年度より継続） タオル60枚
 - 粉石けん1個、石けん20個、手洗い用石けん1個
 - ・北海道コカ・コーラボトリング(株)八雲営業所 飲料水34箱
 - （昭和59年度より継続）
 - ・匿名 介護用ベッド1台

社協活動メモ

十月

- ・ 栄浜町内会敬老会
- ・ 北渡島檜山地域医療構想調整会議地域医療構想専門部会
- ・ 第2四半期定期監査
- ・ 八雲町社会福祉協議会職員研修会
- ・ 第二回管内社協会長・事務局長会議
- ・ 渡島総合振興局保健福祉部八雲地域保健室地域ケア研修会
- ・ 熊石身体障害者福祉協会秋季の集い

十一月

- ・ 第二回渡島噴火湾社会福祉協議会連絡協議会
- ・ 第四回八雲町総合開発委員会
- ・ 正副会長及び総務福祉委員会等会議
- ・ 八雲ライオンズクラブ創立五十五周年記念式典及び祝賀会
- ・ 八雲町社会福祉協議会役員先進地視察研修
- ・ 八雲ボランティア黒松内福祉施設慰問
- ・ 八雲総合病院運営検討委員会平成二十七年第一回検討会
- ・ 主任介護支援専門員研修
- ・ 第五回八雲町福祉懇談会
- ・ 第四回理事会
- ・ ふれあいサークル事業 “男のためのそば打ち”

十二月

- ・ 第五回八雲町総合開発委員会
- ・ 八雲ライオンズクラブクリスマス家族会
- ・ 介護保険施設等に係る集団指導 渡島合同庁舎
- ・ 北渡島檜山圏地域医療構想調整会議第二回地域医療構想調整専門部会
- ・ 平成二十八年度第一回八雲町民生委員協議会定例会
- ・ 指定障害福祉サービス事業者等集団指導
- ・ 熊石老人クラブ連合会役員会

クリスマスプレゼントとして 八雲町内各施設へ

今年も北海道コカ・コーラボトリング株式会社様より飲料水三十四箱の寄贈がありましたので、当社協から八雲町内の施設へ配付させていただきました。
ありがとうございました。



赤い羽根共同募金の助成金は、八雲町社協だよりの発行にも役立てています。

会報第四十号 ◎八雲町社協だより◎

平成二十八年一月一日発行

二海郡八雲町栄町十三-1

社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

TEL 0137-64-2112
FAX 0137-63-2160